

広報

2021年
No.355

9/1・15

かみす

Pick up

折込 まなびアイかみす

特集

まちの魅力再発見

オリンピック

世界と神栖をつなぐアスリートたち

ザッザッザッとパドルを漕ぎ、水上を滑るように進む姿は迫力満点。チュニジア共和国カヌー競技チームが、神栖市でオリンピックの事前キャンプを行いました。この選手たちをはじめ、世界を舞台に活躍する市ゆかりのアスリートたちから、子どもたちへメッセージが届きました。神栖市のオリンピックを振り返るとともに紹介します。

AR

広報かみすが
動き出す



[COCOAR2]



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は16ページ



まちの魅力再発見



オリンピック

世界と神栖をつなぐアスリートたち

日本にとって歴史的な一大イベント、東京2020オリンピックが開催されました。今回は、事前キャンプを行なった選手団、神栖市にゆかりのあるオリンピック選手、次の大会を目指す選手などを紹介。子どもたちへのメッセージもお届けします。

オリンピックの歴史と日本

1964年以来57年ぶりの開催となった東京オリンピック。205の国や地域・難民選手団の約1万1000人の選手が参加し、7月23日から8月8日までの17日間にわたり、史上最多となる33競技339種目で熱戦が繰り広げられました。

今回、新型コロナウイルスの影響で史上初の1年延期・無観客開催となったこともあり、改めてオリンピックの意義が問い直されました。

そもそもオリンピックが他のスポーツ大会と違うのは、「平和の祭典」と呼ばれる点です。これは1896年第1回アテネオリンピックの開催を主導した近代オリンピックの父・クーベルタンが、「スポーツを通して平和な世界を実現する」ことを掲げたことに由来します。そして勝敗だけでなく、フェアプレーの精神が重視されてきました。

日本が初めて参加したのは、1912年のストックホルムオリンピックです。その後、東京に誘致した1940年の大会は戦争のため返上し、幻の大会に。そして1964年、ついに悲願の東京オリンピック

が実現したのです。

その頃の高揚感が、当時の「広報かみす」『広報はさき』からも読み取れます。オリンピックの起源を紹介する記事や、聖火リレーの走者に決まった町代表の紹介、そして波崎出身の糸川照雄選手が砲丸投げでオリンピック出場を果たしたことなど、たくさんの関連記事が掲載されています。

チュニジア共和国カヌー競技の事前キャンプ地に

2013年9月7日、2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。神栖市はチュニジア共和国カヌー競技チームの事前キャンプ地に名乗りをあげ、2018年11月30日に基本合意書を締結。このとき、チュニジアオリンピック委員会から同国初の金メダルのレプリカが寄贈され、神栖市からは日本一の生産量を誇る将棋盤と駒のセットを贈呈しました。

チュニジア

は、世界有数のリゾート地である地中海に面し、地中



基本合意書を締結。市から将棋盤を贈呈



Canoe Sprint

カヌー・スプリント チュニジア代表

神栖市の子どもたちへメッセージ

①モハメドアリ・ムラベツ選手「自分の夢がかなうよう努力し続けてください」 ②ハウーラ・サシ選手(左)「夢を抱いてください。そして、夢に向かって一生懸命努力してください」 アフェフ・ベンイスマイル選手(右)「夢を持ってください。それに向かって励んでください」 ③ガイレン・ハタリ選手「スポーツの訓練を通して自分を見つめ、より良い人生を目指してください」



交流会で質問する波崎柳川高校カヌー部の生徒たちと、実演しながら答える選手たち

海、アラブ、アフリカの3つの顔を持つ国です。2019年のかみすフェスタ・消費生活展で「大チュニジア展」を開催するなど、応援ムードを盛り上げました。

そして、今年7月18日から28日まで、選手4人とコーチが神栖市で事前キャンプを行いました。22日に実施した交流会では、参加した波崎柳川高校カヌー部の生徒たちから「カヌーで一番使う筋肉は？」、「どうすれば速くなる？」など次々と質問が飛び出すと、選手たちはカヌーを漕ぐ体勢を見せながら「ここでしっかりと足腰を固定して」など熱心に説明してくれました。また、「大会での緊張のほぐし方は？」という質問には、「大事なものは自信を持つこと。自分の呼吸や技術に集中して競技をしてください」と返答。生徒たちにとって、オリンピック選手から直接指導を受けるまたとない機会となりました。

また試合直前にコーチのアービル・ベンイスマイルさんから「神栖市は素晴らしいまちで、事前キャンプでは充実した練習ができました。4選手全員にベストを尽くしてもらいたいです」とメッセージをい

チュニジア共和国 首都：チュニス
人口：約1200万人 公用語：アラビア語
アフリカ大陸北端に位置し、地中海とサハラ砂漠に面している。地中海を挟んでイタリアが近い
ため、ヨーロッパの影響が色濃い地中海文化の国
(写真上：まち並み、下：カルタゴ遺跡)



ただきました。チュニジア選手は、8月2日と6日のカヌースプリント競技に出場。準々決勝で敗退となりました。ただ、直前まで神之池や市民体育館で練習をしていた選手たちだと思つたと応援にも熱が入りました。



神之池に1000mのコースを設置

東京2020オリンピックスポーツクライミング日本代表

榎智亜

選手



東京2020オリンピックで4位入賞を果たす

©IFSC

東京

2020オリンピックで初採用されたスポーツクライミング。ワールドカップ年間チャンピオンや世界選手権優勝などの実績を誇る榎智亜選手が出場するとあって、日本中の注目を集めました。初代王者を目指して8月6日の決勝に挑み、結果は4位入賞。最適なルートを探る戦略と、並外れた身体能力にぐいぐい引き込まれ、榎選手を通してスポーツクライミングの魅力を知ることができました。実は榎選手は神栖市と縁があり、医師であるお父さんが市内で

クリニックを営んでいます。

その榎選手から、オリンピック出場への感想をはじめ貴重なメッセージをいただきました。



Q 榎選手にとってスポーツクライミングの魅力とは？

いろいろあって一言では難しいのですが、壁が常にあり続けることです。どんなに強くなっても埋めなければならぬ穴が出てきて、それを試行錯誤しながら埋めていくのが楽

しいですね。

Q どのような気持ちで東京2020オリンピックに臨みましたか？

世界選手権やワールドカップのときよりも周りの応援や期待の大きさを感じ、普段はそれを切り離して戦っているのですが、今回はすべて背負って戦うという気持ちで挑みました。

Q 東京2020オリンピックの舞台で戦った感想は？

金メダルを目指したのですが、期待や応援を背負いながら戦う難しさを感じました。そして他のオリンピックアスリートへの尊敬が増し、

自分もプレッシャーの中でもベストなパフォーマンスが出せるようになりたいと思いました。

Q 今後の目標を教えてください。

直近では、9月に開催される世界選手権での優勝を目標に頑張っています。

Q 神栖市の子どもたちへのメッセージをお願いします。

夢や目標を持つことで、「自分がどこに向かって頑張るか」が見つけられますし、「どうしたらそこに向かっていけるのか」を考えるきっかけにもなります。ただ何となくやるよりもパフォーマンスが変わってくるので、皆さんに夢や目標を持って挑んでほしいと思います。



プロフィール

TEAM au 所属

1996年6月22日生まれ。2016年世界選手権（ボルダリング）で日本人初の優勝。2019年世界選手権では、ボルダリングと複合で2冠を達成。

2017年以降、3年連続でワールドカップ複合年間ランキング1位。東京2020オリンピック4位。

トライアスロンでパリ五輪を目指す

安松青葉 選手



オリンピックでの日本人初となるメダル獲得を目指す(中央)

日本

を代表するアスリートたちが次に目指すのは、

2024年パリオリンピックです。神栖市出身の安松青葉選手は、オリンピック強化指定選手に選出されているトライアスロン選手。パリで日本人初のメダル獲得を目指す安松選手から届いた、熱い思いを紹介します。

Qトライアスロンの面白さとは？

スイム、バイク、ランの3種目があり、選手それぞれに得意種目と苦手種目があるので、最初につまずいても挽回できるチャンスがあります。ゴールした瞬間の達成感は何ものにも代えがたいですね。
Qオリンピックの魅力とは？

競技人生で、4年に一度の舞台に立てるチャンスは数回のみ。そこに向けて努力してきた世界各国のトップ選手が、最高の状態で戦う姿が見られるところが魅力です。ましてやそこに選手として出場できたら最高ですよ！

Q神栖市で、トライアスロンのトレーニングに適した場所は？

大学時代は、神栖市で合宿を行っていました。スイムの練習は日川浜、バイクは利根川のサイクリングロードや国道124号線などで。直線で平坦な道が多い神栖市は練習しやすいですね。ランは神之池緑地や神栖総合公園など、おすすめの公園がたくさんあります！

Q地元の応援や期待の声をどう受け止めていますか？

小学1年生からトライアスロンをやっているのですが、練習中に声を掛けていただくことも多く、今はSNSで地元から応援の声が届くことがあり、大きな力となっています。

Q神栖市の子どもたちへのメッセージをお願いします。

夢や目標は「今」何をすべきかを教えてくれる人生の道しるべです。夢や目標を持つことで、自分が何を

すればいいのかが見えてきます。もし失敗しても、なぜ失敗したかを認できれば、ある意味成功と同じ。だから失敗を恐れずに頑張ってください。今、夢や目標がない方は、何かに対してワクワクする、楽しいという感情を大切にしてください。その感情から夢や目標は生まれます。



プロフィール

アक्सスホールディングス所属
1997年12月19日生まれ。神栖市出身。鹿島学園高校から日本体育大学へ進学。2019年日本学生選手権優勝、U-23日本選手権2連覇、日本デュアスロン選手権3連覇。2020年アジアカップ大阪大会優勝。2021年神栖市PR大使に就任。